様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　９月　７日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000078
事業所名	グループホーム名古屋荒子の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	隣近所とのつきあいがなかなか進まない状況の中、法人内の異動で着任した管理者が近くの保育園との交流を始めようとしていた矢先にコロナ禍となり、現状は散歩での挨拶程度に留まっています。それでも、商売で残った野菜を「より分けて使ってください」とわざわざ届けてくださる好々爺がいたり、「水害の際には是非使ってください」と申し出てくださるビルのオーナーもいて、コロナ終息後は一つひとつ関係を深めていきたいとしています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は1月のみ通常開催できています。新管理者が「偶数月の開催としたい」考えを以て4月から隔月開催を予定していたところ、コロナと管理者の入退院が重なり思うようにできず、結果4月、7月、9月、11月、1月との変則実施となり、また全て書面開催に至っています。事前にメンバーにアンケートで意見を募り、2ケ月毎に議事録としてまとめたものを全員に配付して、丁寧に取組んでいます。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	いきいき支援センター(地域包括支援センター)には、「車いすを借りることはできないか」との家族の要望を伝えたり、運営推進会議に民生委員の出席がないことを相談すると、「学区の会長が替わったので…」と情報を教えてもらえたりと、運営推進会議を中心として常日頃から支えてもらっています。また、なごや介護ネットを毎朝確認するとともに、市内同法人8事業所で月2回会議をおこない、情報共有に務めています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月の請求書とともに家族にはお手紙を送っており、最近の様子とともに、行事報告も兼ねて写真を盛り込んでいます。面会は中止となったり、再開したりとコロナのレベルに応じていますが、再開の場合でも玄関のドア越しといった制限があります。利用者は家族の面会頻度が少ないことは気にならないようですが、「買い物に行きたい」フラストレーションが溜まっている人もいるため、バイキングをはじめ室内で気持ちが弾むイベントを増やしています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										